

(3)ごみの減量化プロジェクトの推進

王寺町では、ごみ焼却時のCO2排出量を削減するため、ごみ減量化プロジェクトに取り組んでいます。家庭から出る可燃ごみの1人1日当たりの量を令和元年度の570gから▲100g(近隣1市8町の平均値470g)の達成を目指しています。可燃ごみの減量化はCO2排出量の削減につながることから以下の取組を継続的に実施しています。

①資源ごみ回収ステーションの周知の徹底

令和4年4月から町内4箇所(旧中央公民館前、清掃事務所、いずみスクエア、文化福祉センター)に、新聞や雑誌、ダンボールなどの資源ごみをいつでも出すことができる「資源ごみ回収ステーション」を設置しています。今後も資源ごみ回収ステーションの周知に努めます。



旧中央公民館前



清掃事務所



いずみスクエア



文化福祉センター

②資源ごみのリサイクル(雑がみ回収袋の再配布)

令和3年12月に可燃ごみに含まれる「雑がみ」の分別を進めるため「雑がみ回収袋」を各戸配布しました。資源ごみのリサイクルをさらに促進するため、前回配布したものよりひと回り大きい「雑がみ回収袋」を全戸配布します。



今の雑紙袋をサイズアップ!

(旧) たて32cm×よこ32cm×奥行11 → (新) たて32cm×よこ44cm×奥行11

③再生資源集団回収(廃品回収)の利用促進

自治会や子ども等が実施している新聞や雑誌、ダンボールなどの資源ごみの集団回収(廃品回収)の利用を引き続き啓発、支援していきます。

(4)その他の取組

①「奈良セブンの森」活動との連携

「奈良セブンの森」に認定された「陽楽の森」(管理:一般社団法人 大和森林管理協会)で行われる竹林整備、広葉樹の植林といった活動に協力し、緑化の促進とCO2排出量の削減に努めます。

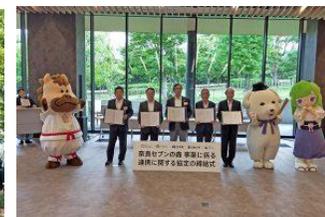
※「奈良セブンの森」とは、一般社団法人 セブンイレブン記念財団が日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐため、様々な団体と協力して、その保護・保全活動を支援する森のことです。王寺町もこの活動に賛同し、協力団体として、一般社団法人 セブンイレブン記念財団、一般社団法人 大和森林管理協会、上牧町、近畿大学農学部とともに「奈良セブンの森」整備・保全に関する協定を令和5年6月29日に締結しました。



陽楽の森①



陽楽の森②

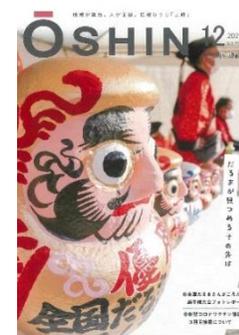


協定の締結の様子

②広報紙等による啓発

王寺町地球温暖化対策ビジョンに掲げた具体的な取組みである「王寺町創エネ・省エネシステム等普及促進事業」や「ごみの減量化プロジェクト」について、今後も広報紙やホームページで定期的に広報していきます。

ごみの減量化では、分別ルールの徹底や、生ごみを削減するためのキーワードである「3つの切る」(「食材は使い切る」「食事は食べきる」「捨てる前に水を切る」)を啓発していきます。



王伸2021年12月号

(5)取組の検証及び見直しについて

「王寺町創エネ・省エネシステム等普及促進事業」の利用状況やごみの減量化の達成状況、また、環境省が作成する自治体排出カルテを参考にして、王寺町の取組について、検証及び見直し(見直しの時期は3年後)を行い、効果的な取組を推進していきます。